

2023年3月期第4四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2023年4月

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2023年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-8)
- インベストメント・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門 (P11-13)
- 金融費用以外の費用(P14)
- 強固な財務基盤を維持(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリューストック・アット・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P21)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-27)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30)
- 人員数(P31)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2023年3月期通期の決算ハイライト

- **税前利益:1,495億円(前年比34%減)、当期純利益¹:928億円(前年比35%減)、EPS²:29.74円、ROE³:3.1%**
- **3セグメントの税前利益は1,064億円(前年比48%減)**
 - 営業部門:残高拡大の取り組みが浸透し、ストック資産純増を伴いながら、ストック収入は前年比で増加。一方、不透明な市場環境を受けて、上半期を中心にフロー収入等が低調
 - インベストメント・マネジメント部門:成功報酬等の減少を、航空機リースを手掛ける野村パブコックアンドブラウンの業績改善で相殺し、事業収益は前年並みを維持。投資損益が減少
 - ホールセール部門:マクロ・プロダクト中心にフィクスト・インカムが増収、エクイティも米国顧客取引に起因する損失が剥落し、増収。インベストメント・バンキングは案件の見送り等でファイナンス収益が低調。円安進行を主要因とする費用増加も、部門業績を圧迫

株主還元

- **一株当たり配当金:**
 - 期末12円、年間17円
- **自己株式の取得を決議**
資本効率の向上および機動的かつ柔軟な資本政策の実施を可能とし、また株式報酬として交付する株式へ充当するため
 - 取得株式総額: 上限3,500万株
 - 取得価額総額: 上限200億円
 - 期間: 2023年5月16日～2024年3月29日

	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	前年同期比		2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	前年同期比	
収益(金融費用控除後)	1兆3,356億円	1兆3,639億円	-2%	▶ 税前利益(損失):セグメント情報	営業部門	335億円	592億円	-43%
税前利益(損失)	1,495億円	2,266億円	-34%		インベストメント・マネジメント部門	435億円	715億円	-39%
当期純利益(損失) ¹	928億円	1,430億円	-35%		ホールセール部門	294億円	745億円	-61%
EPS ²	29.74円	45.23円	-34%		3セグメント合計	1,064億円	2,052億円	-48%
ROE ³	3.1%	5.1%			その他	734億円	158億円	4.7x
					営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-303億円	56億円	-
					税前利益(損失)合計	1,495億円	2,266億円	-34%

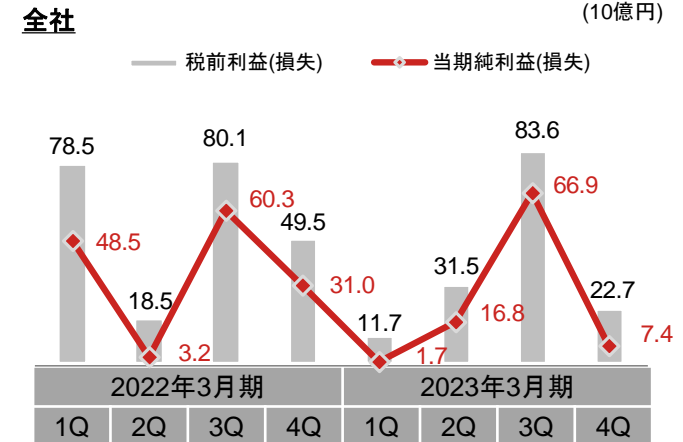
1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失) 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失) 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

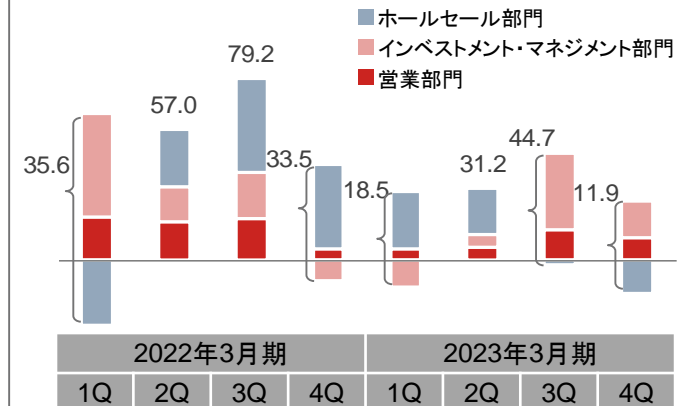
2023年3月期第4四半期の決算ハイライト

- 収益: 3,249億円(前四半期比17%減)、税前利益: 227億円(同73%減)、当期純利益¹: 74億円(同89%減)、EPS²: 2.34円、ROE³: 0.9%
- 3セグメント税前利益は119億円(前四半期比73%減)
 - 営業部門
 - ✓ 不透明な市場環境が続く中、複数の売出・募集案件をきっかけとしたお客様との対話が進展
～フロービジネス顧客数が増加
 - ✓ 一方、保険契約や債券等の取引減少を受けて、フロー収入等は前四半期比で減収
 - インベストメント・マネジメント部門
 - ✓ アセットマネジメント・ビジネスは堅調 ～コア投信や銀行等チャネル、オルタナティブ運用等で資金流入が継続
 - ✓ 投資損益は高水準だった前四半期からは減少も、部門収益に寄与
 - ホールセール部門
 - ✓ フィクスト・インカムは年初好調な滑り出しも、3月のボラティリティ急上昇局面で減速
 - ✓ エクイティ、インベストメント・バンキングも前四半期比で減収となり、部門業績が悪化
- セグメントその他の税前利益は157億円(前四半期比74%減)
 - 前四半期に計上した野村総合研究所株式の売却益が剥落、営業目的で保有する投資持分証券の売却益も減少

税前利益(損失)、当期純利益(損失)¹の推移



3セグメント税前利益(損失)



1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2023年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS及びROEを除く)

	22年3月期	2023年3月期				前四半期比 前年同期比		22年3月期	23年3月期	前年同期比
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			通期	通期	
収益合計(金融費用控除後)	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9	-17%	-5%	1,363.9	1,335.6	-2%
金融費用以外の費用	291.3	287.3	286.5	310.1	302.2	-3%	4%	1,137.3	1,186.1	4%
税前利益(損失)	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7	-73%	-54%	226.6	149.5	-34%
当期純利益(損失) ¹	31.0	1.7	16.8	66.9	7.4	-89%	-76%	143.0	92.8	-35%
EPS ²	9.89円	0.52円	5.41円	21.51円	2.34円	-89%	-76%	45.23円	29.74円	-34%
ROE ³	4.3%	0.2%	2.2%	8.5%	0.9%			5.1%	3.1%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)		22年3月期	2023年3月期					前四半期比 前年同期比		22年3月期	23年3月期	前年同期比
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期			通期		
収益	営業部門	70.5	71.4	72.5	81.0	75.3	-7%	7%	328.0	300.2	-8%	
	インベストメント・マネジメント部門	10.1	7.6	26.2	57.0	37.8	-34%	3.8x	148.0	128.6	-13%	
	ホールセール部門	194.9	199.0	205.5	189.1	178.8	-5%	-8%	703.1	772.4	10%	
	3セグメント合計	275.4	278.0	304.2	327.0	292.0	-11%	6%	1,179.0	1,201.1	2%	
	その他(※)	64.2	23.9	15.6	87.3	37.9	-57%	-41%	179.2	164.7	-8%	
	営業目的で保有する投資持分証券の 評価損益	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	-4.9	-	-	5.6	-30.3	-	
	収益合計(金融費用控除後)	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9	-17%	-5%	1,363.9	1,335.6	-2%	
税前利益 (損失)	営業部門	5.2	4.9	5.5	13.3	9.8	-26%	89%	59.2	33.5	-43%	
	インベストメント・マネジメント部門	-8.8	-11.7	5.6	33.3	16.4	-51%	-	71.5	43.5	-39%	
	ホールセール部門	37.0	25.3	20.2	-1.9	-14.2	-	-	74.5	29.4	-61%	
	3セグメント合計	33.5	18.5	31.2	44.7	11.9	-73%	-64%	205.2	106.4	-48%	
	その他(※)	14.9	-3.9	2.1	59.5	15.7	-74%	5%	15.7	73.4	4.7x	
	営業目的で保有する投資持分証券の 評価損益	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	-4.9	-	-	5.6	-30.3	-	
	税前利益(損失) 合計	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7	-73%	-54%	226.6	149.5	-34%	

(※) 第4四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する利益(63億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(16億円)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	通期		四半期						前四半 期比	前年同 期比
	22年 3月期	23年 3月期	22年 3月期 4Q	2023年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計(金融費用控除後)	328.0	300.2	70.5	71.4	72.5	81.0	75.3	-7%	7%	
金融費用以外の費用	268.7	266.7	65.3	66.5	67.0	67.8	65.5	-3%	0.3%	
税前利益/損失	59.2	33.5	5.2	4.9	5.5	13.3	9.8	-26%	89%	

収益の内訳

(10億円)	通期		四半期						前四半 期比	前年同 期比
	22年 3月期	23年 3月期	22年3 月期 4Q	2023年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
ストック収入 ¹	132.5	135.3	32.9	32.5	34.9	34.2	33.7	-1%	3%	
フロー収入等 ²	195.5	164.9	37.6	38.9	37.6	46.8	41.6	-11%	11%	
収益合計(金融費用控除後)	328.0	300.2	70.5	71.4	72.5	81.0	75.3	-7%	7%	

1. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)。2023年3月期4Qにストック収入の範囲を見直したことを受け、2023年3月期3Q以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正
 2. 取引に付随して発生する収入(フロー・レレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
 3. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
 4. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引。2023年3月期3Qの数字を修正
 5. ストック収入を金融費用以外の費用で除したもの

決算のポイント

<通期>

- 収益: 3,002億円 (前年比8%減)
- 税前利益: 335億円 (前年比43%減)
 - 不透明な市場環境下でお客様の様子見姿勢が継続、上半期を中心にフロー収入等が低調
 - 資産拡大の取り組みが奏功し、ストック収入は拡大。コスト・コントロールの継続もあり、ストック収入費用カバー率は51%に

<第4四半期>

- 収益: 753億円 (前四半期比7%減、前年同期比7%増)
- 税前利益: 98億円 (前四半期比26%減、前年同期比89%増)

ストック収入

- ストック資産は、純増を伴って18.7兆円まで回復
- 一方でストック収入は前四半期比で減少 ~ 信託報酬の対象日数が少ないことや、保険残高フィーの減少が要因
- レベルフィー対象資産は、3月末に3,500億円を突破

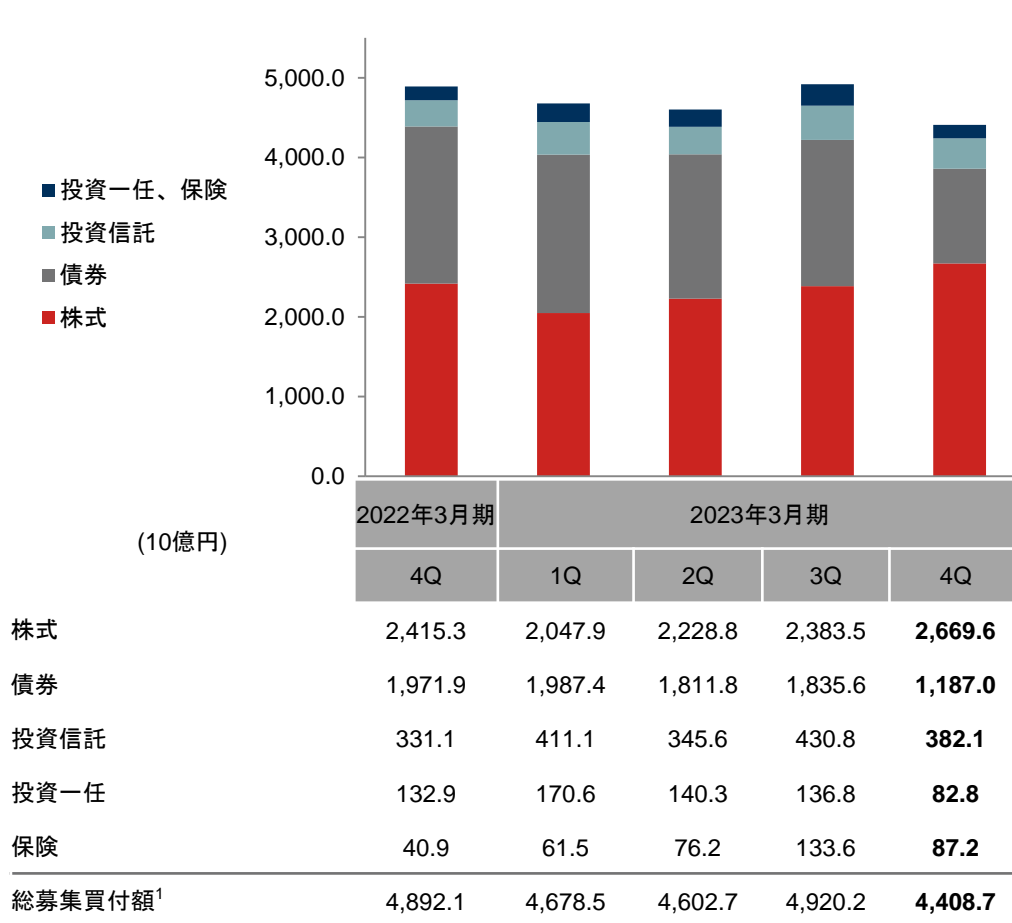
フロー収入等

- 保険契約や債券等の取引減少を受けて、前四半期比で減収

■ 資産拡大項目	2023年3月期	2023年3月期
	3Q	4Q
- 投信純増 ³	+414億円	+366億円
- 投資一任純増 ³	+665億円	-121億円
- 現金本券差引 ⁴	+1,219億円	+2,003億円
- ストック収入費用カバー率 ⁵	50%	52%

営業部門：募集商品を中心に総募集買付は堅調

総募集買付額¹



総募集買付額¹は前四半期比10%減

- 株式：前四半期比12%増
 - 募集・売出案件の貢献により、株式募集買付額が大きく増加（プライマリー株式募集額²：3,638億円、前四半期比3.6倍）
- 債券販売額：前四半期比35%減
 - 国内債券は、個人向け国債の販売額が増加する一方、法人顧客の短期運用目的の買付が減少
 - プライマリー案件の貢献もあり、外債販売は増加
- 投資信託：前四半期比11%減
 - 日本株投信を中心に資金が流入するも、期後半の市場環境の悪化を受けて買付額が減少
- 投資一任契約：前四半期比39%減
 - SMA、ファンドラップともに契約額が前四半期から減少
- 保険販売額：前四半期比35%減
 - 販売額が大幅に増加した前四半期から減少も、高水準を維持

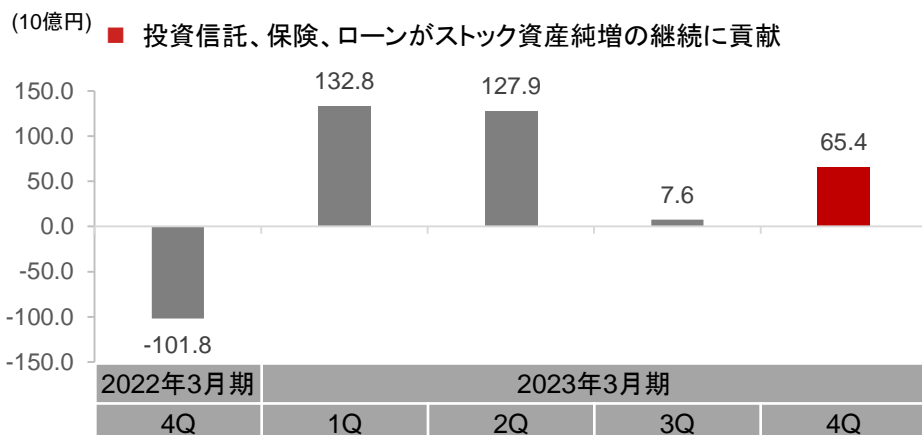
投信の販売上位ファンド(2023年1月～3月)

- 1 (早期償還条項付)リオープン・ジャパン2301
- 2 フィデリティ・世界割安成長株投信
- 3 ノムラ・ジャパン・オープン

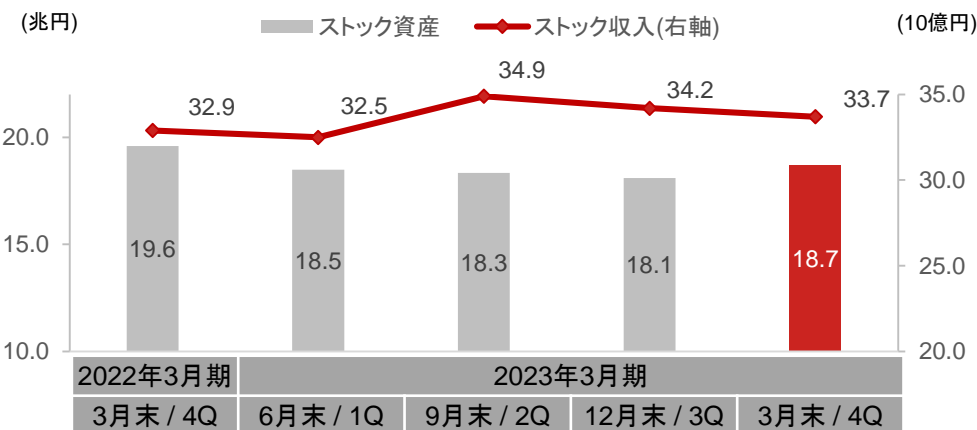
1. 2023年3月期1Qより総募集買付額の範囲を、従来のリテールチャネルのみから、リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、仲介に変更。それに伴い、2022年3月期の数値を新定義に置き換えて表示
 2. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

営業部門: KPIサマリー

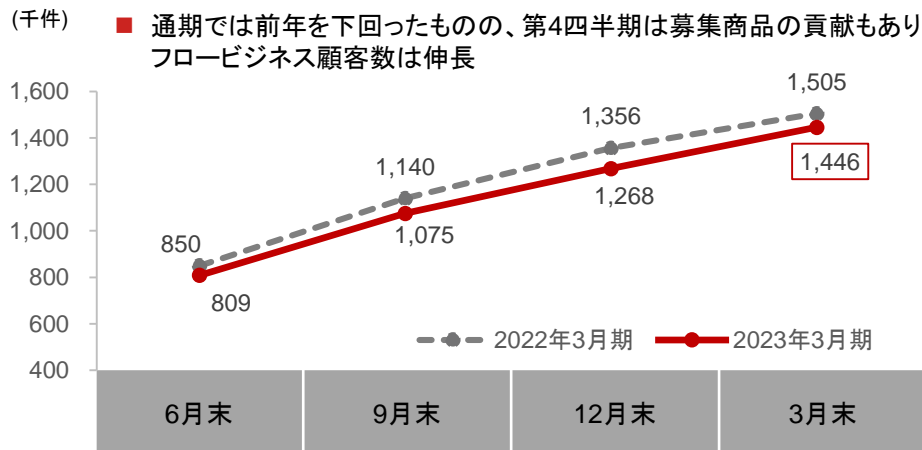
ストック資産純増¹



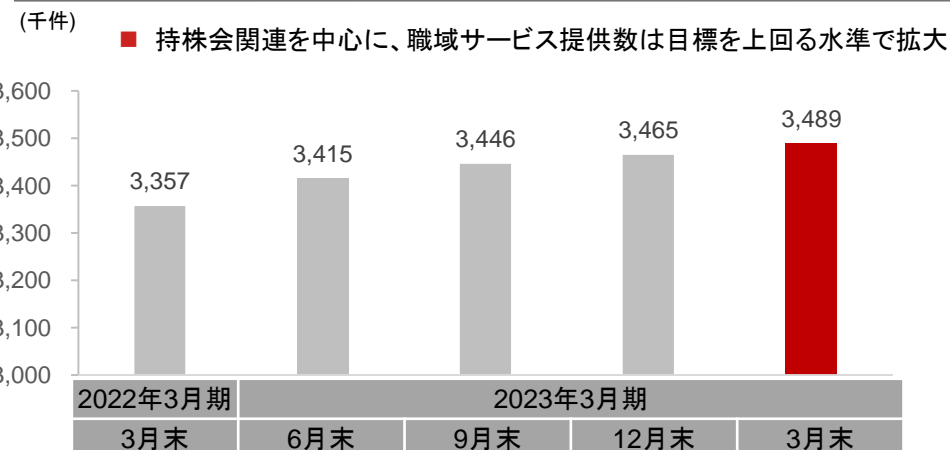
ストック資産およびストック収入²



フロービジネス顧客数



職域サービス提供数



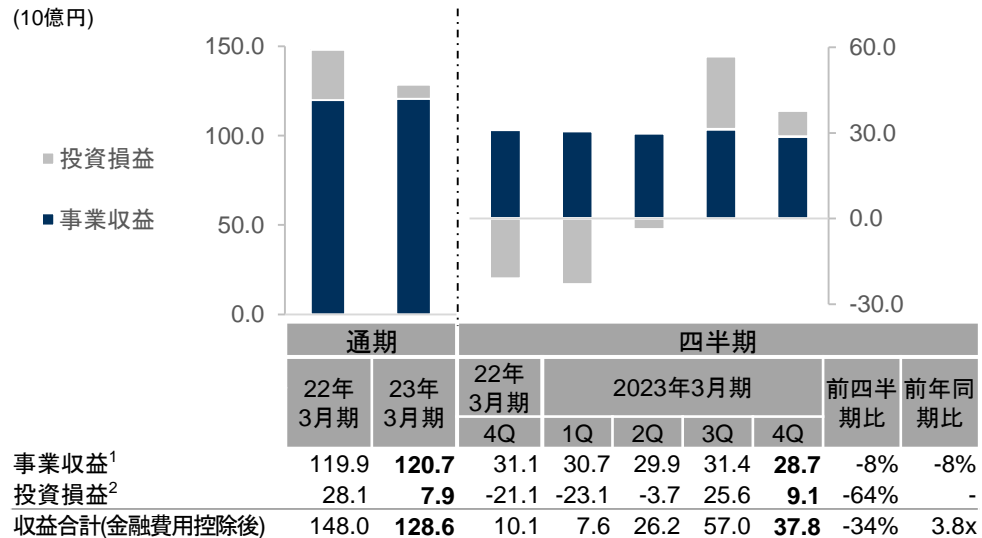
1. 合計は投信分配金、及びレベルファイ口座内の投信純増を控除した数値
 2. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルファイ等)。2023年3月期4Qにストック収入の範囲を見直したことを受け、2023年3月期3Q以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正

インベストメント・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	通期		四半期						
	22年 3月期	23年 3月期	22年 3月期 4Q	2023年3月期				前四半 期比	前年同 期比
				1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	148.0	128.6	10.1	7.6	26.2	57.0	37.8	-34%	3.8x
金融費用以外の費用	76.5	85.1	18.9	19.3	20.6	23.7	21.5	-9%	14%
税前利益/損失	71.5	43.5	-8.8	-11.7	5.6	33.3	16.4	-51%	-

収益の内訳



決算のポイント

<通期>

- 収益: 1,286億円 (前年比13%減)
- 税前利益: 435億円 (前年比39%減)
 - 事業収益は前年並みを維持 ~成功報酬等の減少を、航空機リースを手掛ける野村バブcockアンドブラウンの業績改善で相殺
 - 投資損益が減少 ~アメリカン・センチュリー・インベスツ(以下ACI)関連損益が減少したこと、および、前年は野村キャピタルパートナーズ投資先企業の上場が大きく利益に貢献

<第4四半期>

- 収益: 378億円 (前四半期比34%減、前年同期比3.8倍)
- 税前利益: 164億円 (前四半期比51%減)

事業収益¹

- 収益: 287億円 (前四半期比8%減、前年同期比8%減)
 - アセットマネジメント・ビジネスは堅調 ~運用資産残高が拡大し、前四半期並みの運用報酬を達成
 - 一方、野村バブcockアンドブラウンは、航空機リースの案件組成が重なった前四半期比で減収

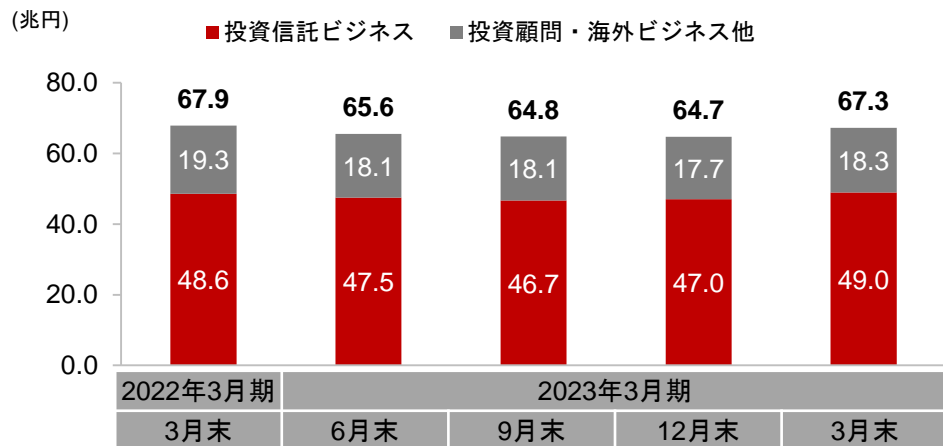
投資損益²

- 収益: 91億円 (前四半期比64%減)
 - ACI関連損益および野村キャピタル・パートナーズ投資先企業の評価益が収益に貢献するも、前四半期比では減収

1. 投資損益を除き、アセット・マネジメント事業(ACI関連損益を除く)及び野村バブcockアンドブラウンの航空機リース関連事業の収益並びにプライベート・エクイティ等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
 2. ACI関連損益、プライベート・エクイティおよびクレジット等の投資事業並びにめぐみフィナンシャル・グループの投資損益を含む投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成

インベストメント・マネジメント部門： コア投信やオルタナティブ運用では資金流入が継続

運用資産残高(ネット)¹



市場要因を受けて、運用資産残高は拡大

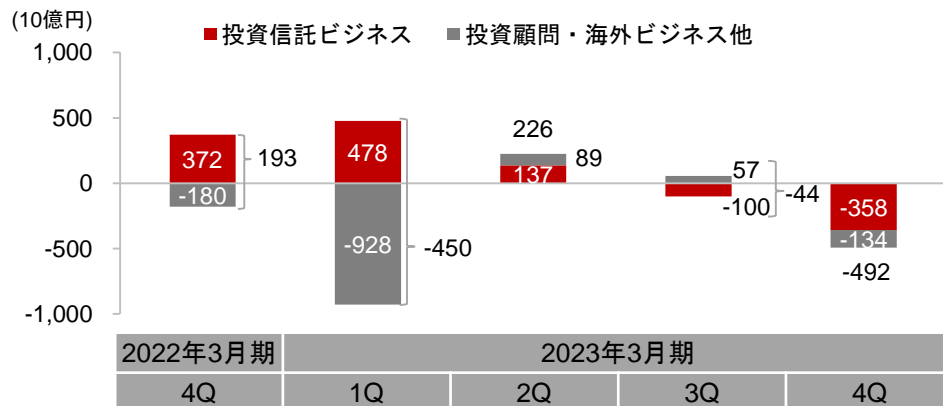
■ 投資信託ビジネス

- MRF等(-約3,600億円)やETF(-約2,200億円)で資金が流出も、コア投信⁴(+約2,300億円)では資金流入が継続
- コア投信⁴:
 - 野村証券チャネルでは1月に新規設定した日本株投信を中心に資金が流入
 - 銀行等チャネルや確定拠出年金(DC)専用投信でも資金流入が継続

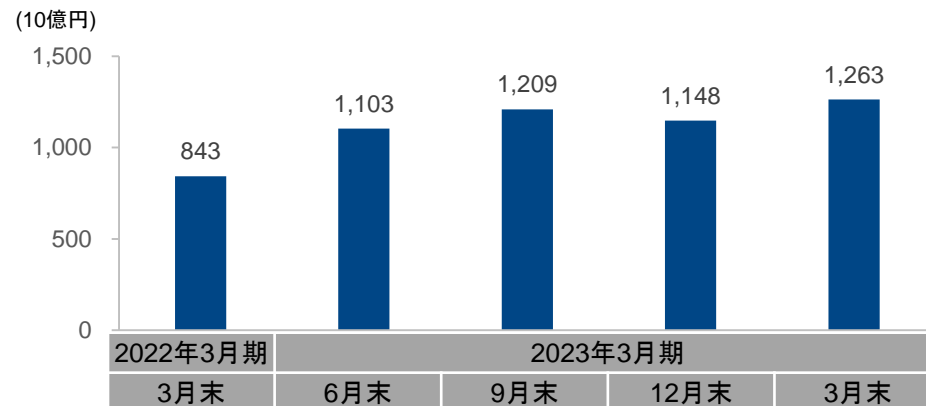
■ 投資顧問及び海外ビジネス他

- 海外はハイ・イールド債や日本株運用から資金が流出
- 国内はオルタナティブ運用等に資金が流入

資金純流入^{2,3}



オルタナティブ運用資産残高は資金流入を伴い、順調に拡大^{3,5}



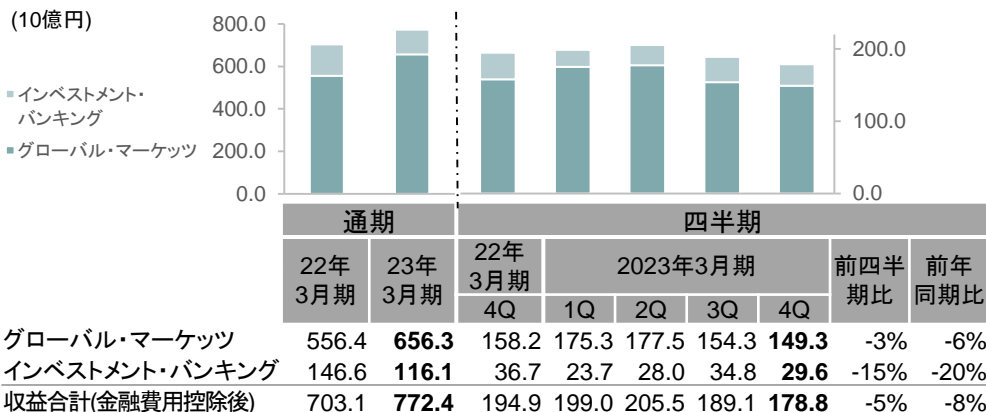
1. 運用資産残高には、野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産を控除したものに、野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額を含む
 2. 運用資産残高(ネット)に基づく
 3. 2023年3月期1Qに運用資産残高及び資金流入の測定方法を見直したことに伴い、過年度の数値を組み替えて表示
 4. ETFとMRF等を除く
 5. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高並びに野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額の合計

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失²

(10億円)	通期		四半期						前四半 期比	前年 同期比
	22年 3月期	23年 3月期	22年 3月期 4Q	2023年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計(金融費用控除後)	703.1	772.4	194.9	199.0	205.5	189.1	178.8	-5%	-8%	
金融費用以外の費用	628.6	743.0	157.9	173.7	185.3	190.9	193.1	1%	22%	
税前利益/損失	74.5	29.4	37.0	25.3	20.2	-1.9	-14.2	-	-	
経費率	89%	96%	81%	87%	90%	101%	108%			
収益/調整リスク・アセット ¹	7.0%	6.5%	7.9%	7.3%	7.1%	5.9%	5.8%			

ビジネスライン別の収益



1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除した。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼル3規制のリスク・アセットと、(2)バーゼル3規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計

2. 米国顧客取引に起因して、2022年3月期1Qに654億円(うち561億円はトレーディング損失、93億円は貸倒引当金)の損失を計上。また、損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もれるようになった為、2022年3月期3Qに32億円(うち26億円はトレーディング収益、5億円は貸倒引当金の戻入)、2022年3月期4Qに115億円(うち95億円はトレーディング収益、20億円は貸倒引当金の戻入)、2023年3月期3Qに111億円(うち91億円はトレーディング収益、19億円は貸倒引当金の戻入)の利益を計上

決算のポイント

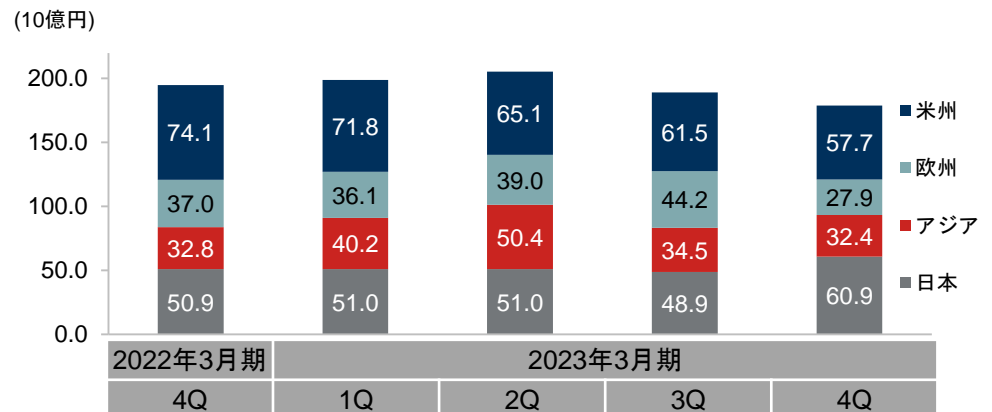
<通期>

- 収益:7,724億円(前年比10%増)、税前利益:294億円(前年比61%減)
 - マクロ・プロダクト中心にフィクスト・インカムが増収、エクイティも米国顧客取引に起因する損失が剥落
 - 円安の進行やインフレによる固定費の上昇などで部門コストは増加

<第4四半期>

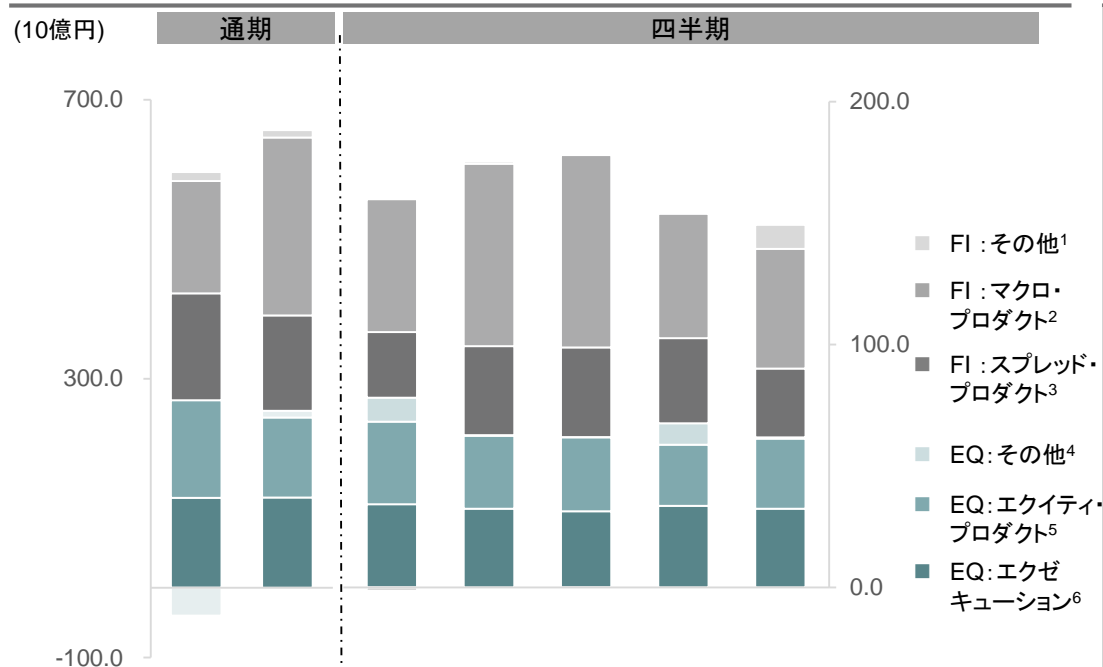
- 収益:1,788億円(前四半期比5%減、前年同期比8%減)、税前損失:142億円
 - フィクスト・インカムは日本・アジア中心にクレジットが減収。エクイティは米国顧客取引に起因する収益があった前四半期から減収も、米州中心にエクイティ・プロダクトは増収
 - インベストメント・バンキングは、案件の延期などで米州・欧州中心にアドバイザリー収益が減少、ECM/DCMなどファイナンス収益は増加

地域別収益



ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)



	通期		四半期				前四半期比	前年同期比	
	22年3月期	23年3月期	22年3月期4Q	2023年3月期1Q	2Q	3Q			4Q
フィクスト・インカム(FI)	326.9	402.4	80.1	112.6	115.6	86.7	87.5	1%	9%
エクイティ(EQ)	229.5	253.9	78.1	62.6	61.9	67.5	61.8	-8%	-21%
グローバル・マーケット	556.4	656.3	158.2	175.3	177.5	154.3	149.3	-3%	-6%

決算のポイント

<通期>

- 収益:6,563億円 (前年比18%増)
 - フィクスト・インカムは、マクロ・プロダクトの貢献により、23%の増収
 - エクイティはデリバティブが減速も、米国顧客取引に起因する損失が剥落し、11%の増収

<第4四半期>

- 収益:1,493億円 (前四半期比3%減、前年同期比6%減)
 - フィクスト・インカムは日本・アジア中心にクレジットが減収、証券化商品が増収
 - エクイティは米州中心にエクイティ・プロダクトが増収、前四半期に計上した米国顧客取引に起因する収益が剥落した影響を一部相殺

フィクスト・インカム

- 収益:875億円 (前四半期比1%増、前年同期比9%増)
 - マクロ・プロダクト:金利は、日本中心に年初好調な滑り出しも、3月のボラティリティ急上昇により、減速。為替/エマージングはアジアが増収となり、欧州・日本の減収を相殺
 - スプレッド・プロダクト:顧客アクティビティの低下やスプレッドのワイドニングを受けて、日本・アジア中心にクレジットは減収。証券化商品は、アクティビティ回復を受け、増収

エクイティ

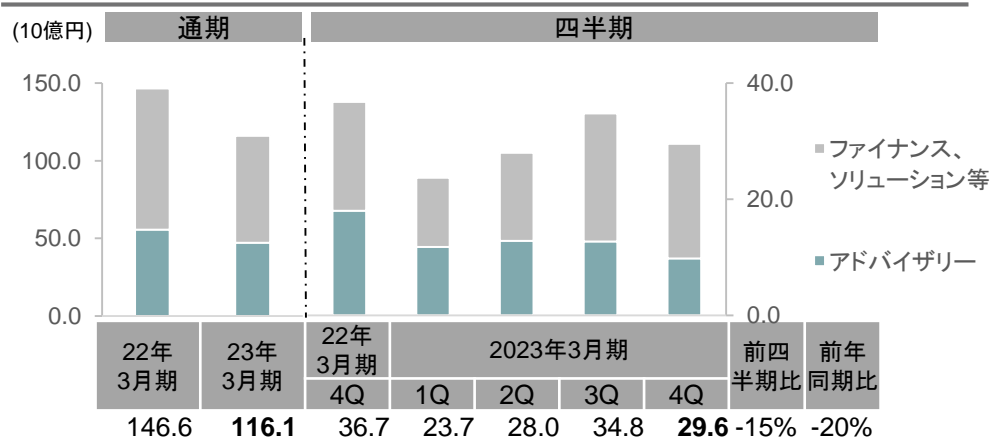
- 収益:618億円 (前四半期比8%減、前年同期比21%減)
 - エクイティ・プロダクト:顧客アクティビティの増加により、米州、日本が増収、アジアが減収
 - エグゼキューション:期の終盤のアクティビティ回復を受け、欧州が増収も、他地域が減収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益
 2. 金利プロダクト、為替/エマージング
 3. クレジット、証券化商品
 4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、米国顧客取引に起因する損益(米国顧客取引に起因して、2022年3月期1Qに561億円のトレーディング損失を計上。また、米国顧客取引に起因するトレーディング損失に関する債権の一部について回収可能額が合理的に見積もれるようになった為、2022年3月期3Qに26億円、2022年3月期4Qに95億円、2023年3月期3Qに91億円の利益をトレーディング損益として計上)、その他各デスクに帰属しない損益
 5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス
 6. 株式執行ビジネス

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

■ サステナビリティ関連
 ■ クロスボーダー案件

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

- <通期>
- 収益: 1,161億円 (前年比21%減)
 - アドバイザリーは、過去最高収益¹を達成した前年比から減収も、エクイティ・プライベートプレースメント案件の貢献により、底堅く推移
 - ファイナンス収益は、不透明な市場環境を受けて上半期は低調、下半期は日本ECM中心に回復
- <第4四半期>
- 収益: 296億円 (前四半期比15%減、前年同期比20%減)
 - アドバイザリーは前四半期比で減収、ECM/DCM等の収益は回復
- アドバイザリー
- 米州・欧州が減収 ~ 不安定な市場環境でフィープールが減少、延期となった案件も複数存在。日本は大型案件が収益に寄与
- ファイナンス、ソリューション等²
- ECMは、日本の大型案件等が貢献し、前四半期比で増収
 - DCMではESG/SDGs債等の発行を複数サポートし、前四半期比で増収

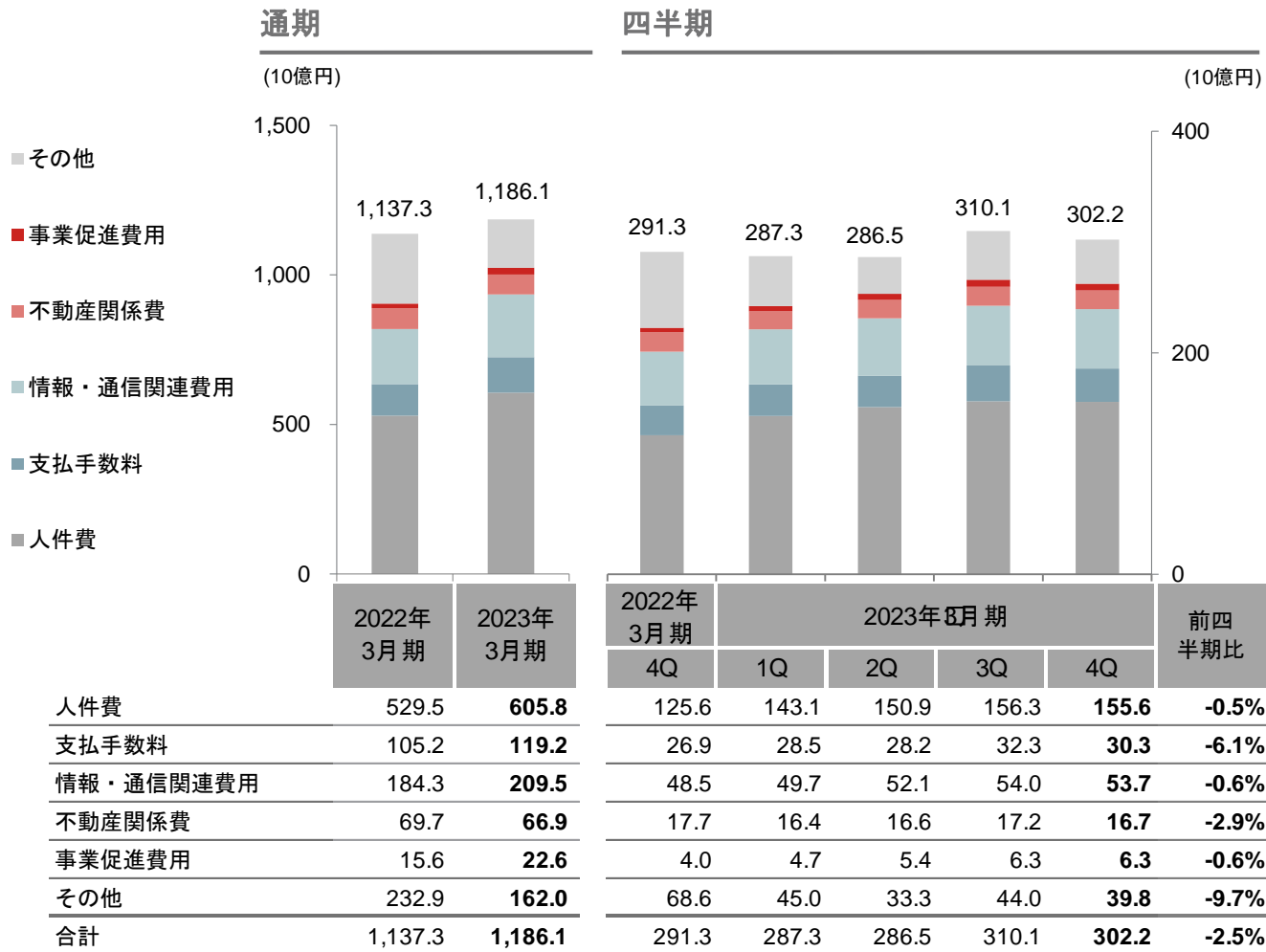
1. 2013年3月期以降
 2. ECM、DCM、買収/レバレッジド・ファイナンス、グローバル・マーケットとの共管ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない損益

高プロファイル案件を複数執行、第三者機関から高い評価を獲得

カテゴリー	案件概要
アドバイザリー	■ 大型TOBやサステナビリティ関連など様々な案件を多数公表
	日本産業パートナーズによる東芝の非公開化に向けた公開買付け (2兆1,152億円)
	KKR (米)が保有する X-Elio Energy(スペイン) 株式(50%)の Brookfield(加)への譲渡 (非開示)
	ソフトバンクグループが保有するSBエナジーの豊田通商への売却 (非開示)
	住友電気工業によるテクノアソシエ、および、日新電機の完全子会社化 (155億円/882億円)
	Jamieson Wellness (加)の中国ビジネスのDPC Capital (中)への売却 (CNY241m)
双日とISTS (タイ)による Thai Central Chemical (タイ)の株式取得 (THB3.9bn)	
ファイナンス	■ 顧客のファイナンス・ニーズに回復の兆し、大型案件にも複数関与
	ゆうちょ銀行 グローバルPO (1兆2,317億円)
	住信SBIネット銀行 グローバルIPO (572億円)
	Enlight Renewable Energy (イスラエル) IPO (Nasdaq) (\$289m)
	アサヒグループホールディングス グリーンボンド/SB (総額1,000億円)
	東日本旅客鉄道 ユーロ建てグリーンボンド (€750m)
	欧州連合(EU) グリーンボンドの追加発行 (€6.0bn)
	韓国産業銀行 ドル建て債 (\$2.0bn)
	BJ's Wholesale Club (米) リファイナンス (Amend-and-Extend) (\$450m)
Diot-Siaci (仏) アドオン・ファイナンス (€200m)	

Refinitiv	The Banker	IFR
DealWatch Awards 2022	Investment Banking Awards 2022	IFR Awards 2022
総合部門: House of the Year 株式部門: Equity House of the Year	Investment Bank of the Year for Sustainable SSA Financing	Yen Bond House of the Year

金融費用以外の費用



決算のポイント

<通期>

- 金融費用以外の費用: 1兆1,861億円
～円安進行を主要因として前年比で4%増加。為替影響を除くと、前年比で減少
- 人件費(前年比14%増)
- ✓ 円安進行に加え、インフレによる固定費の増加や基盤強化が背景
- その他費用(前年比30%減)
- ✓ 過去の取引事案に関する法的費用が減少

<第4四半期>

- 金融費用以外の費用: 3,022億円
(前四半期比3%減)
- 人件費(前四半期比0.5%減)
- ✓ 年度末の賞与調整による増加を、円高進行や退職関連費用の減少等で相殺
- 支払手数料(前四半期比6%減)
- ✓ 取引量の低下に加え、航空機リースの組成案件に絡む支払手数料が減少

強固な財務基盤を維持

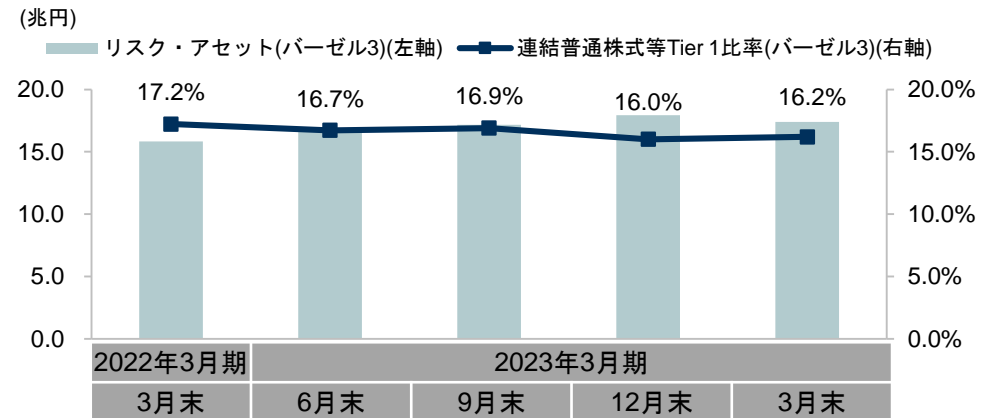
バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

	2022年 3月末	2022年 12月末	2023年 3月末
■ 資産合計	43.4兆円	49.2兆円	47.8兆円
■ 当社株主資本	2.9兆円	3.1兆円	3.1兆円
■ グロス・レバレッジ	14.9倍	15.7倍	15.2倍
調整後レバレッジ ¹	9.1倍	9.3倍	9.4倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.8兆円	1.0兆円	0.9兆円
■ 流動性ポートフォリオ	7.1兆円	7.6兆円	7.6兆円

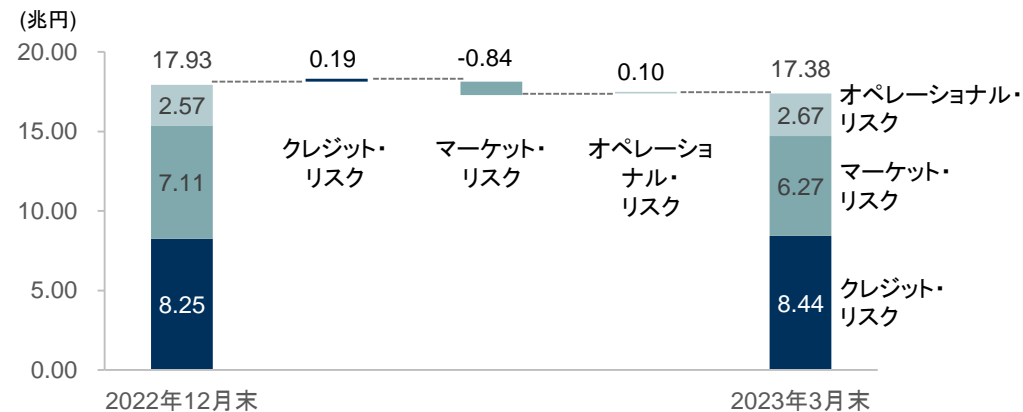
(10億円)	2022年 3月末	2022年 12月末	2023年 3月末 ²
バーゼル3ベース			
Tier 1資本	3,103	3,248	3,205
Tier 2資本	0.4	0.4	0.4
総自己資本の額	3,103	3,248	3,205
リスク・アセット	15,830	17,934	17,380
連結Tier 1比率	19.6%	18.1%	18.4%
連結普通株式等Tier 1比率 ³	17.2%	16.0%	16.2%
連結総自己資本規制比率	19.6%	18.1%	18.4%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.98%	5.53%	5.65%
適格流動資産(HQLA) ⁵	6.0兆円	5.9兆円	6.5兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR) ⁵	241.7%	181.1%	203.8%
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	30.7%	29.6%	31.6%
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	10.30%	10.01%	10.67%

1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売却条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したものの
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したものの
 5. 四半期の日次平均の値

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



リスク・アセットの変動²



2. 2023年3月末は暫定数値

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2022年 3月末	2023年 3月末	前期比 増減		2022年 3月末	2023年 3月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	4,064	4,521	458	短期借入	1,050	1,009	-42
貸付金および受取債権	5,001	5,207	206	支払債務および受入預金	4,920	5,297	377
担保付契約	16,876	18,117	1,241	担保付調達	14,538	16,109	1,571
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹	15,296	17,609	2,313	トレーディング負債	9,652	10,558	906
その他の資産 ¹	2,175	2,317	141	その他の負債	1,020	1,176	155
資産合計	43,412	47,772	4,360	長期借入	9,258	10,399	1,141
				負債合計	40,439	44,548	4,108
				資本			
				当社株主資本合計	2,915	3,149	234
				非支配持分	58	76	17
				負債および資本合計	43,412	47,772	4,360

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼区間 : 95%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

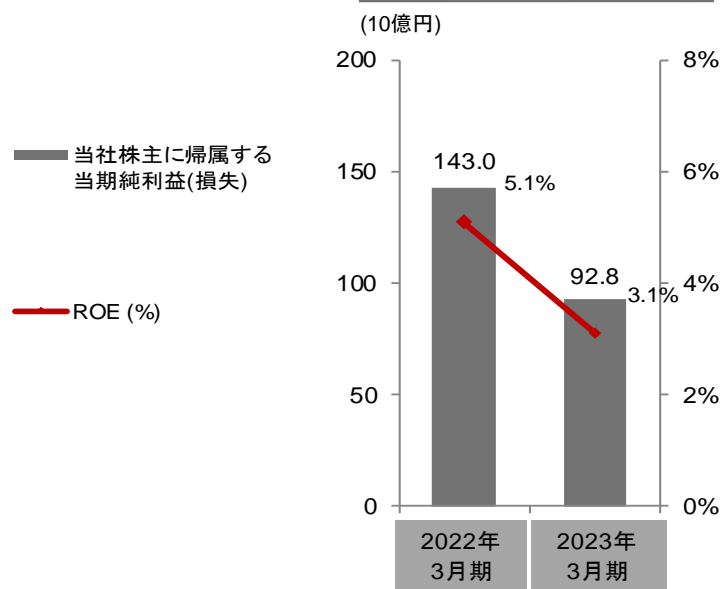
- 期間 : 2022.4.1~2023.3.31
- 最大 : 6.8
- 最小 : 2.7
- 平均 : 4.8

(10億円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式関連	1.4	3.3	1.4	1.7	2.4	3.5	3.3
金利関連	2.3	4.7	2.3	4.8	3.7	4.0	4.7
為替関連	0.9	1.4	0.9	1.8	1.6	1.8	1.4
小計	4.6	9.4	4.6	8.4	7.7	9.3	9.4
分散効果	-1.9	-3.3	-1.9	-3.4	-2.8	-3.7	-3.3
連結VaR	2.7	6.2	2.7	5.0	4.9	5.6	6.2

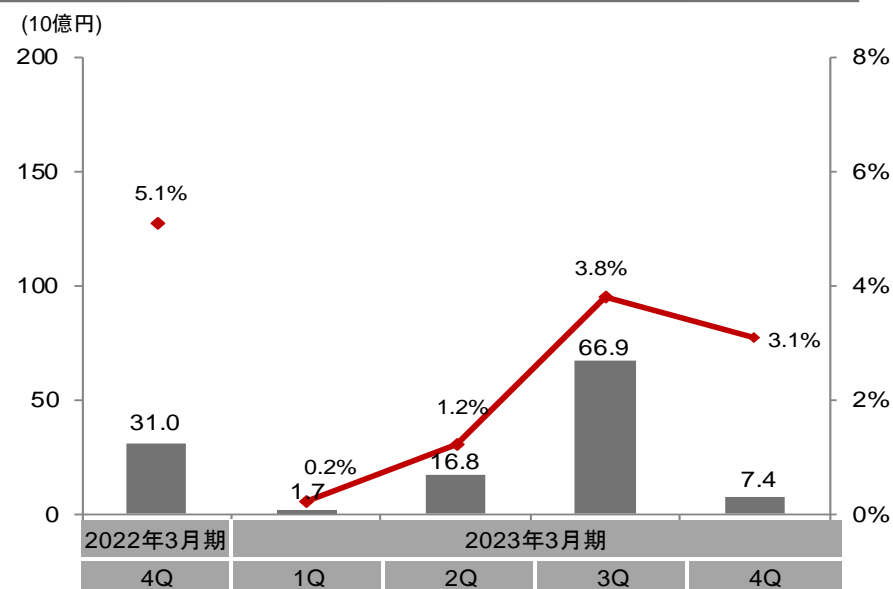
連結決算概要

通期



収益合計(金融費用控除後)	1,363.9	1,335.6
税引前当期純利益(損失)	226.6	149.5
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	143.0	92.8
当社株主資本合計	2,914.6	3,148.6
ROE(%) ¹	5.1%	3.1%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	46.68	30.86
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	45.23	29.74
1株当たり株主資本(円)	965.80	1,048.24

四半期



収益合計(金融費用控除後)	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9
税引前当期純利益(損失)	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	31.0	1.7	16.8	66.9	7.4
当社株主資本合計	2,914.6	3,055.5	3,163.0	3,138.8	3,148.6
ROE(%) ¹	5.1%	0.2%	1.2%	3.8%	3.1%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	10.26	0.56	5.59	22.30	2.46
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	9.89	0.52	5.41	21.51	2.34
1株当たり株主資本(円)	965.80	1,017.18	1,053.91	1,045.65	1,048.24

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期					
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
収益								
委託・投信募集手数料	332.3	279.9	75.2	70.4	68.2	77.5	63.8	
投資銀行業務手数料	149.6	113.2	34.0	27.3	24.2	33.8	28.0	
アセットマネジメント業務手数料	270.0	271.7	68.9	68.3	69.0	67.0	67.4	
トレーディング損益	368.8	563.3	118.9	141.9	160.9	142.1	118.3	
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	30.8	14.5	-0.3	-4.5	5.7	8.1	5.3	
金融収益	284.2	1,114.7	67.1	109.0	196.9	373.3	435.5	
投資持分証券関連損益	5.4	-1.4	2.5	-1.7	-1.5	0.6	1.2	
その他	152.8	130.9	39.6	-0.7	10.5	69.8	51.4	
収益合計	1,594.0	2,486.7	405.9	410.0	533.9	772.2	770.7	
金融費用	230.1	1,151.1	65.1	110.9	215.9	378.6	445.7	
収益合計(金融費用控除後)	1,363.9	1,335.6	340.8	299.0	318.0	393.7	324.9	
金融費用以外の費用	1,137.3	1,186.1	291.3	287.3	286.5	310.1	302.2	
税引前当期純利益(損失)	226.6	149.5	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7	
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	143.0	92.8	31.0	1.7	16.8	66.9	7.4	

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
委託・投信 募集手数料	委託手数料-株式	236.4	190.8	53.1	48.4	48.5	52.6	41.3
	委託手数料-株式以外	18.0	17.9	5.5	4.8	4.7	4.3	4.0
	投信募集手数料	43.7	30.3	6.5	7.5	6.4	8.3	8.0
	その他手数料	34.3	41.0	10.1	9.7	8.6	12.2	10.4
	合計	332.3	279.9	75.2	70.4	68.2	77.5	63.8
投資銀行 業務手数料	株式	33.1	18.9	3.1	3.7	1.6	8.1	5.4
	債券	29.8	21.1	6.3	6.7	4.5	4.5	5.4
	M&A・財務コンサルティングフィー	64.2	53.9	20.0	14.0	14.3	14.3	11.3
	その他	22.4	19.3	4.6	2.8	3.8	6.9	5.7
	合計	149.6	113.2	34.0	27.3	24.2	33.8	28.0
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	171.1	171.3	44.4	43.7	43.2	41.8	42.6
	アセット残高報酬	79.6	76.2	19.5	19.0	19.6	19.0	18.6
	カストディアルフィー	19.4	24.2	4.9	5.6	6.2	6.2	6.2
	合計	270.0	271.7	68.9	68.3	69.0	67.0	67.4

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業部門	59.2	33.5	5.2	4.9	5.5	13.3	9.8
インベストメント・マネジメント部門	71.5	43.5	-8.8	-11.7	5.6	33.3	16.4
ホールセール部門	74.5	29.4	37.0	25.3	20.2	-1.9	-14.2
3セグメント合計税前利益	205.2	106.4	33.5	18.5	31.2	44.7	11.9
その他	15.8	73.4	14.9	-3.9	2.1	59.5	15.7
セグメント合計税前利益	221.0	179.7	48.4	14.6	33.3	104.3	27.6
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	5.6	-30.3	1.2	-2.8	-1.8	-20.7	-4.9
税前利益(損失)	226.6	149.5	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7

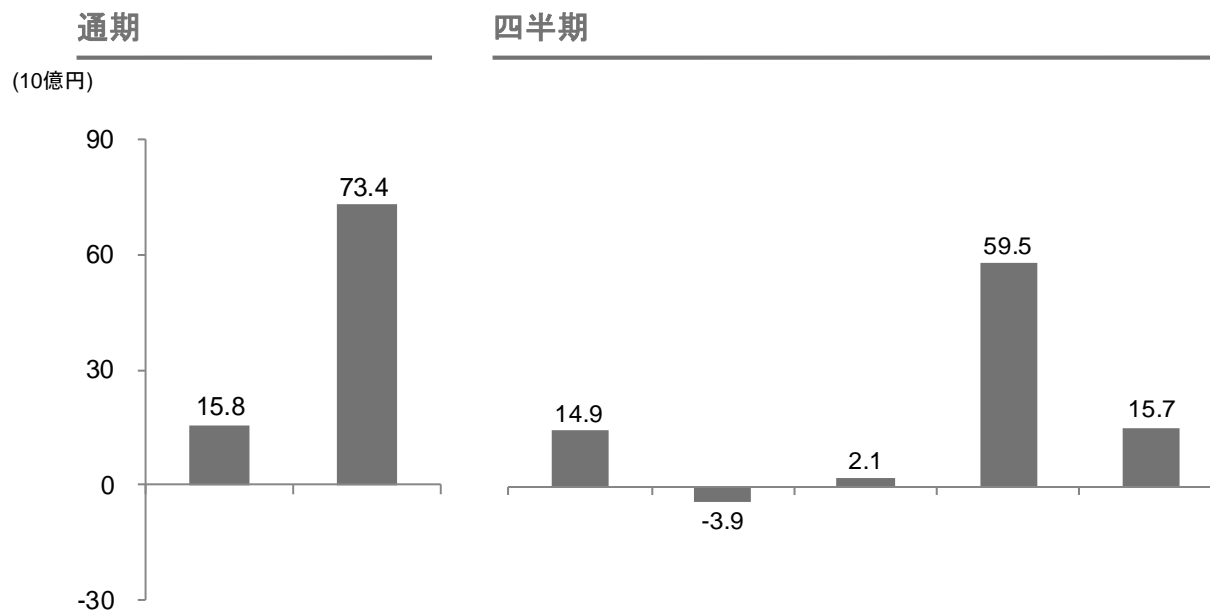
地域別情報:税前利益(損失)¹

(10億円)	通期		四半期				
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米州	-41.0	-51.7	-19.4	-21.6	-21.4	7.9	-16.6
欧州	-21.8	9.2	-4.2	-1.9	6.4	8.3	-3.6
アジア・オセアニア	28.6	31.0	3.9	8.3	15.6	-1.7	8.7
海外合計	-34.1	-11.5	-19.7	-15.2	0.6	14.6	-11.5
日本	260.8	161.0	69.2	26.9	30.9	69.0	34.2
税前利益(損失)	226.6	149.5	49.5	11.7	31.5	83.6	22.7

1. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第4半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期4Q	2023年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-9.9	-4.8	-8.4	-9.8	0.1	-1.5	6.3
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	1.4	28.4	1.1	0.2	0.1	21.9	6.2
関連会社損益の持分額	36.8	47.7	16.2	17.0	9.1	8.9	12.7
本社勘定	-91.1	-12.6	-34.4	-6.0	4.5	-3.3	-7.8
その他	78.6	14.7	40.4	-5.3	-11.7	33.5	-1.8
税前利益(損失)	15.8	73.4	14.9	-3.9	2.1	59.5	15.7

営業部門関連データ(1)

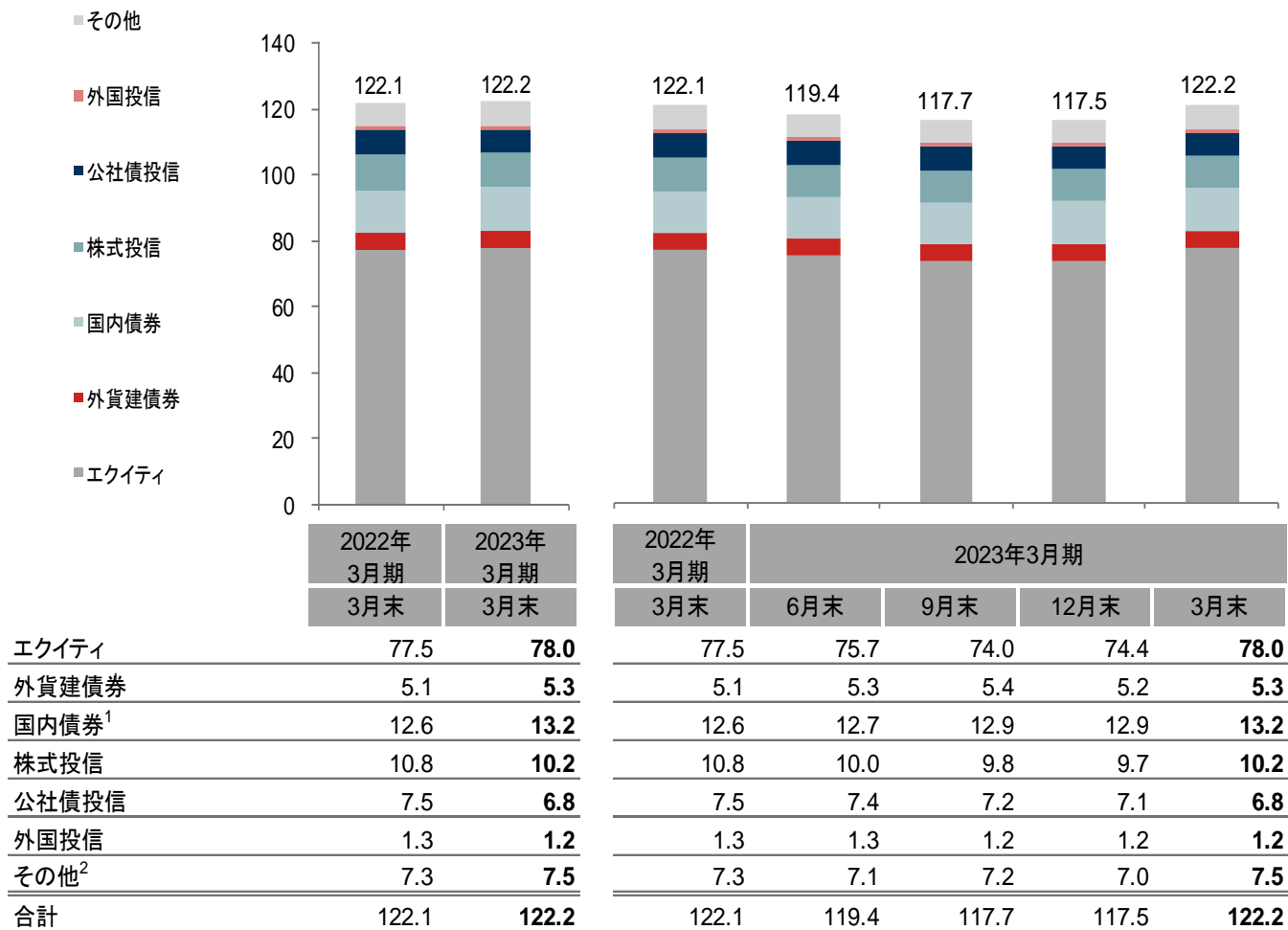
(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
委託・投信募集手数料	138.5	112.5	27.8	26.0	26.2	31.2	29.1	-6.7%	4.6%
うち株式委託手数料	67.4	50.9	14.4	11.8	12.2	13.4	13.4	0.3%	-6.9%
うち投資信託募集手数料	43.5	30.2	6.5	7.5	6.4	8.3	8.0	-3.6%	23.6%
販売報酬	44.0	44.2	9.1	10.4	10.9	12.2	10.6	-13.2%	16.4%
投資銀行業務手数料等	19.0	16.2	2.8	3.5	3.2	5.2	4.2	-19.1%	54.0%
投資信託残高報酬等	109.3	108.1	26.4	26.8	27.6	27.1	26.6	-1.8%	0.7%
純金融収益等	17.2	19.3	4.4	4.7	4.5	5.3	4.8	-9.7%	9.0%
収益合計(金融費用控除後)	328.0	300.2	70.5	71.4	72.5	81.0	75.3	-7.1%	6.9%
金融費用以外の費用	268.7	266.7	65.3	66.5	67.0	67.8	65.5	-3.4%	0.3%
税前利益	59.2	33.5	5.2	4.9	5.5	13.3	9.8	-25.9%	89.1%
国内投信販売金額 ¹	2,197.0	2,111.0	425.7	506.3	479.6	647.1	478.0	-26.1%	12.3%
株式投信	1,931.5	1,560.3	335.1	374.8	351.0	438.3	396.2	-9.6%	18.3%
外国投信	265.5	550.7	90.7	131.5	128.6	208.8	81.8	-60.8%	-9.8%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	3,818.9	4,147.5	3,818.9	3,874.7	3,945.4	4,068.5	4,147.5	1.9%	8.6%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	618.6	526.2	177.8	167.7	93.7	111.4	153.4	37.7%	-13.7%
リテール外債販売額	643.0	949.6	100.6	160.8	279.6	239.5	269.7	12.6%	168.0%

1. 旧ネット&コールを含む

営業部門関連データ(2)

営業部門顧客資産残高

(兆円)



1. CB・ワラントを含む 2. 年金保険契約資産残高を含む

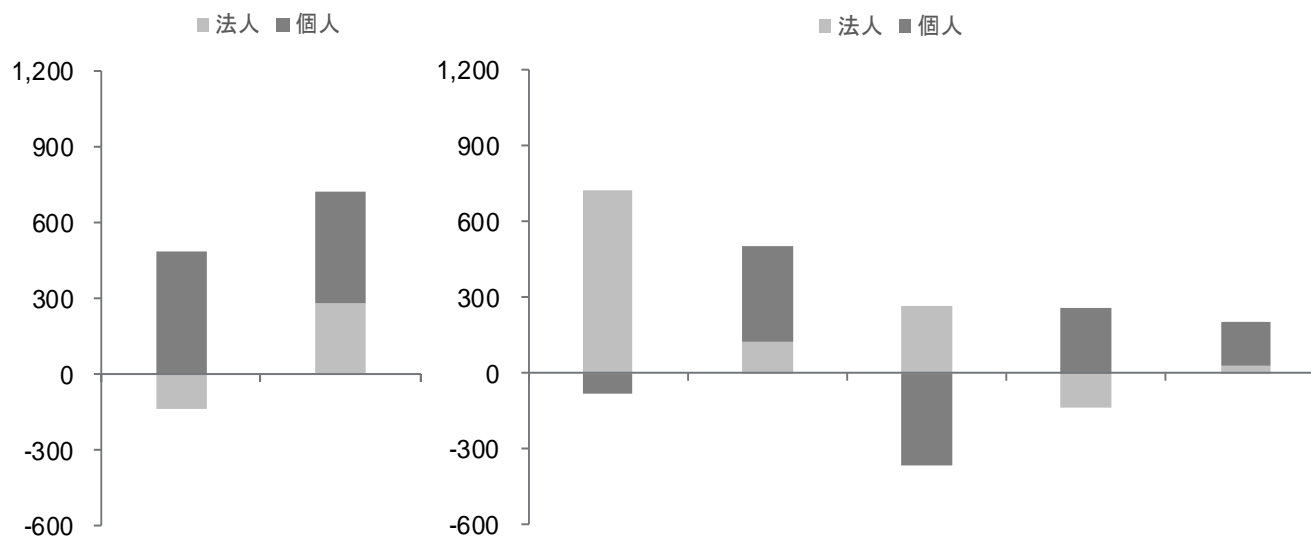
営業部門関連データ(3)

現金本券差引¹

(10億円)

通期

四半期



	2022年3月期		2023年3月期				
	2022年3月期	2023年3月期	4Q	1Q	2Q	3Q ⁵	4Q
法人 ²	-136	282	722	125	267	-137	27
個人 ³	488	438	-82	376	-369	259	173
合計	351	720	641	500	-102	122	200
入金預り ⁴	4,180	4,057	901	1,062	921	1,010	1,064

1. 現金および本券の流入から流出を差引
 2. 法人課(地域金融機関を除く)、国内のウェルズ・マネジメント・グループを含む
 3. リテールチャンネル、ネット&コール、仲介、職域、ほっとダイレクトを含む
 4. リテールチャンネルのみ対象
 5. 2023年3月期3Qの数字を修正

営業部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2022年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2023年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
残あり顧客口座数	5,348	5,353	5,348	5,354	5,359	5,352	5,353
株式保有口座数	2,955	2,963	2,955	2,958	2,957	2,950	2,963
NISA開設口座数(累計) ¹	1,589	1,632	1,589	1,598	1,609	1,625	1,632
オンラインサービス口座数	5,067	5,208	5,067	5,102	5,136	5,173	5,208

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	通期		四半期				
	2022年	2023年	2022年3月期	2023年3月期			
	3月期	3月期	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
個人新規開設口座数	201	199	49	48	48	48	55
IT比率 ²							
売買件数ベース	83%	85%	85%	85%	86%	84%	85%
売買金額ベース	59%	59%	60%	59%	60%	58%	59%

1. ジュニアNISAを含む
2. 現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
事業収益	119.9	120.7	31.1	30.7	29.9	31.4	28.7	-8.4%	-7.7%
投資損益	28.1	7.9	-21.1	-23.1	-3.7	25.6	9.1	-64.5%	-
収益合計(金融費用控除後)	148.0	128.6	10.1	7.6	26.2	57.0	37.8	-33.6%	3.8x
金融費用以外の費用	76.5	85.1	18.9	19.3	20.6	23.7	21.5	-9.2%	14.0%
税前利益(損失)	71.5	43.5	-8.8	-11.7	5.6	33.3	16.4	-50.9%	-

運用資産残高 - 会社別

(兆円)	2022年	2023年	2022年	2023年3月期				
	3月期	3月期	3月期	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末					
野村アセットマネジメント	69.6	69.1	69.6	67.4	66.6	66.5	69.1	
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他	3.9	3.9	3.9	3.7	3.9	3.8	3.9	
運用資産残高(グロス) ¹	73.5	73.0	73.5	71.1	70.5	70.2	73.0	
グループ会社間の重複資産	5.5	5.7	5.5	5.5	5.7	5.6	5.7	
運用資産残高(ネット) ²	67.9	67.3	67.9	65.6	64.8	64.7	67.3	

1. 運用資産残高は、野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産並びに野村スパークス・インベストメント、野村メザニン・パートナーズ、野村キャピタル・パートナーズ及び野村リサーチ・アンド・アドバイザーに対する第三者による投資額の合計を含む

2. 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門 資金流入－ビジネス別^{1,2}

(10億円)	通期		四半期				
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期 4Q	2023年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
投資信託ビジネス	1,236	156	372	478	137	-100	-358
うちETF	683	-250	383	323	-5	-347	-221
投資顧問・海外ビジネス他	830	-916	-180	-928	89	57	-134
資金流入 合計	2,066	-760	193	-450	226	-44	-492

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア³

(兆円)	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内公募投信残高							
マーケット	163.1	166.2	163.1	156.7	155.0	157.2	166.2
野村アセットマネジメントシェア	27%	27%	27%	27%	27%	27%	27%
国内公募株式投信残高							
マーケット	148.9	152.2	148.9	142.3	140.9	142.7	152.2
野村アセットマネジメントシェア	25%	25%	25%	26%	25%	25%	25%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	14.2	13.9	14.2	14.3	14.1	14.5	13.9
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%
ETF残高							
マーケット	61.8	63.3	61.8	59.6	57.9	59.2	63.3
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入

2. 2023年3月期1Qに運用資産残高及び資金流入の測定方法を見直したことに伴い、過年度の数値を組み替えて表示

3. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	703.1	772.4	194.9	199.0	205.5	189.1	178.8	-5.4%	-8.2%
金融費用以外の費用	628.6	743.0	157.9	173.7	185.3	190.9	193.1	1.1%	22.3%
税前利益(損失)	74.5	29.4	37.0	25.3	20.2	-1.9	-14.2	-	-

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期	2023年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	326.9	402.4	80.1	112.6	115.6	86.7	87.5	0.9%	9.3%
エクイティ	229.5	253.9	78.1	62.6	61.9	67.5	61.8	-8.5%	-20.9%
グローバル・マーケット	556.4	656.3	158.2	175.3	177.5	154.3	149.3	-3.2%	-5.6%
インベストメント・バンキング	146.6	116.1	36.7	23.7	28.0	34.8	29.6	-15.1%	-19.6%
収益合計(金融費用控除後)	703.1	772.4	194.9	199.0	205.5	189.1	178.8	-5.4%	-8.2%

	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年3月期 3月末	2023年3月期			
	3月末	3月末		6月末	9月末	12月末	3月末
日本	15,213	15,131	15,213	15,503	15,384	15,282	15,131
欧州	2,820	2,937	2,820	2,811	2,869	2,908	2,937
米州	2,257	2,387	2,257	2,252	2,358	2,392	2,387
アジア・オセアニア ¹	6,295	6,320	6,295	6,407	6,520	6,634	6,320
合計	26,585	26,775	26,585	26,973	27,131	27,216	26,775

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2023年3月期第4四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したのですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com>)、EDINET(<https://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<https://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/